

多彩な作品が並んだ「秋の文化祭」



## 作品展示や囲碁・将棋大会 「秋の文化祭」にぎわう

令和3年度「秋の文化祭」が10月30日(土)から行われ、多くの来場者でにぎわいました。

公民館で行われた展示部門では、各愛好団体による書道や絵画、生け花、押し花、手芸、写真などの力作が会場に並びました。また、囲碁大会は勤労青少年ホーム、将棋大会は老人福祉センターでそれぞれ行われ、参加者が盤上で熱い戦いを繰り広げていました。

日本サッカー協会から贈られた表彰記念品



## 日本サッカー協会 100周年 鏡石町が感謝表彰受賞

日本サッカー協会が創立100周年記念事業として行う表彰で、鏡石町が「感謝表彰」を受賞しました。

この表彰は、日本サッカー界に助成や支援、協力を行った個人、団体に贈られるもので、鏡石町は平成26年に鳥見山公園多目的広場にサッカー多目的用のロングパイル人工芝を導入し、競技環境の整備に貢献したことなどが評価され、今回の受賞となりました。

真剣な表情で訓練に臨む団員ら



## 町消防団が放水中継訓練 有事に備え連携確認

鏡石町消防団は11月28日(日)、東部工業団地内で放水中継訓練を行い、消火技術の向上を図りました。

今回は、より実践的な訓練として火災の発生場所以外は事前に指示をしない形で行われ、出動した団員が現場で適切な判断をできるように訓練を行いました。

また、須賀川消防署鏡石分署の署員から機材の適切な取扱い等について指導を受けました。

## 遊水地整備事業で3町村長 知事への要望書を提出

国が進める「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」において、阿武隈川上流域の鏡石町、矢吹町、玉川村の3町村に遊水地群の整備が計画されていることを受け、遠藤栄作町長、蛭田泰昭矢吹町長、石森春男玉川村長は11月24日(水)、福島県庁を訪れ、井出孝利副知事に3町村長連名の「阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの推進に伴う遊水地群整備事業に関する要望書」を提出しました。

要望書では、国が進める計画とともに「福島県緊急水災害対策プロジェクト」による各種対策の推進のさらなる取り組みと、阿武隈川下流域の県内各市町村の安全安心のために整備される遊水地事業への理解、遊水地整備に伴い移転を余儀なくされる移転者に対する対策、農業等の生業の継承に対する対策等の指導を求めています。

要望書を受けた井出副知事は「国のプロジェクトは阿武隈川流域の治水上、重要な事業であると認識している。今回要望があった事項については、一つ一つ対応していきたい」と話しました。

国のこのプロジェクトでは、3町村に各1か所、計300～400㏊の遊水地整備が計画されています。



(左から)石森村長、井出副知事、遠藤町長、蛭田町長

### - 要望書の内容 -

1. 移転者の代替移転候補地に係る都市計画法や農振法といった各種規制への柔軟な対応について
2. 遊水地群整備事業の推進にあたり県へ相談する際の相談調整機関の設置について
3. 代替先の宅地造成整備や、ほ場整備等及び農業経営指導対策への支援について
4. 遊水地整備後の土地利用への県の参画について

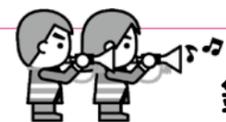
## かがみいし田んぼアート きらきらアート観覧開始

田んぼアートを色鮮やかなペットボトル(LEDイルミネーション)で彩る「きらきらアート」が始まりました。

来年1月10日(月・祝)まで町図書館4階展望室から観覧することができます。観覧時間は16時30分～18時45分まで、毎週月曜日及び12月27日(月)～1月4日(火)の期間は休館となります。夏とは違った幻想的な田んぼアートをぜひご覧ください。



きらきらアートを眺める鏡石保育所の子どもたち



## 鏡石町消防団「ラッパ隊員」急募!



鏡石町消防団では、ラッパ隊員(機能別消防団員)を募集しています。ラッパ隊員は、式典(検閲式や出初式など)で各種合図を消防ラッパで吹奏する隊員です。募集するラッパ隊員は、特定の消防団活動のみに従事することとなるため、消火活動や災害時の活動に参加することはありません。

活動に際しては、出動手当として1回につき1,300円が支給されます(制服、ラッパ貸与)。年4回ほどある消防式典時及びその練習に参加していただけます。活動日数は概ね年間20日程度となります。ラッパ隊経験者、吹奏楽経験者大歓迎です。詳細は下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先 総務課 ☎62-2111

## 鏡石町総合計画等審議会 町長に答申書を提出

来年度から10年間のまちづくりの指針となる「鏡石町第6次総合計画」について、その内容を精査する町総合計画等審議会が11月10日(水)、計画が適当であると認める答申書を遠藤栄作町長に提出しました。

同審議会は町内各団体の代表者ら20名で構成され、これまで3回にわたって第6次総合計画の内容について意見を交わしてきました。



遠藤町長に答申書を手渡す審議会の角田辰吉会長(中央)と面川正彦副会長(右)